

順番検査

対象のフィールドの値ごとに集計する

◇機能

《順番検査》は、指定したフィールドが順番に並んでいるか検査する機能です。《順番検査》の結果は、テーブルに出力することも可能です。

連続番号が振られるシステムの場合、番号が順番通りでないレギュラーなデータがないか調べることができます。

	伝票番号	日付	金額
1	100001	2024/10/01	400
2	100003	2024/10/01	600
3	100002	2024/10/01	500
4	100004	2024/10/01	700
5	100005	2024/10/01	800

レコード番号	伝票番号
3	100002

順番どおりではないレコードが抽出される

◇メニュー

《分析》-《順番検査》

◇設定内容

順番検査

テーブル名 065_順番検査_A000

順番検査フィールド

降順	フィールド名	データ型
<input type="checkbox"/>	商品番号	C
<input type="checkbox"/>	日付	D
<input type="checkbox"/>	金額	N

出力先

画面

テーブル

エラー制限 10

IF条件

保存先

キャンセル 実行

1. テーブル名 : 操作の対象となっているテーブルが表示されます。
2. 順番検査フィールド (必須)
 - : 順番検査をするフィールドを選択します。
 - フィールドは、複数選択できます。
 - 番号順に順番検査の優先度が決まります (1が優先度高)。
3. フィールドの全選択/全解除
 - : チェックボックスのオン/オフで、すべてのフィールドの選択/解除が行えます。
4. 《フィールド選択》ボタン
 - : 「フィールドの選択」画面を開き、フィールドの選択・並び順の変更を行うことができます。
5. 降順 (任意) : 降順に順番検査をする場合は、対象のフィールドのチェックボックスをクリックし、チェックマークを付けます。
6. エラー制限 (必須)
 - : 出力するエラーの件数を指定します。
 - エラーの件数は1~9,999の任意の整数を指定できます。
7. IF条件 (任意) : 抽出条件を設定する場合は、「IF条件」に条件式を入力します。
8. 《式ビルダー》アイコン
 - : 「IF条件」の条件式を入力するために、式ビルダーを開いて使用できます。
9. 出力先 (必須) : 実行結果の出力先を選択します。デフォルトは、「画面」が選択されています。
 - 画面 : 実行結果を画面に表示します。
 - テーブル : 実行結果を新規テーブルに出力します。
10. 保存先 (出力先が「テーブル」の場合は必須)
 - : 実行結果の出力先となる新規テーブル名を入力します。
 - テーブル名の長さは、64文字までです。
 - 「出力先」で「画面」を選択した場合は、入力できません。
 - ファイルの保存先は、プロジェクトが保存されているフォルダの「04_table」フォルダです。
 - 《保存先》ボタンで、保存するフォルダを変更できます。ただし、使用可能なフォルダは、プロジェクトが保存されているフォルダの「04_table」フォルダおよびそのサブフォルダのみです。
11. 《実行》ボタン : 実行します。
12. 《キャンセル》ボタン : 実行せず画面を閉じます。

◇ 実行結果の表示

● 画面出力の場合

順番検査の結果が表示されます
エラーの数が「エラー制限」で指定した値を超えた場合、アラートが表示されます

エラーになったレコード番号とレコードが表示されます

レコード番号	商品番号
1	3 A00002
2	5 A00004
3	12 A00010
4	18 A00016
5	23 A00021
6	30 A00028
7	39 A00036
8	121 A00119
9	150 A00148
10	171 A00166

● テーブル出力の場合

レコード番号	商品番号
1	3 A00002
2	5 A00004
3	12 A00010
4	18 A00016
5	23 A00021
6	30 A00028
7	39 A00036
8	121 A00119
9	150 A00148
10	171 A00166

◇ 操作ログ

SEQUENCE ON FIELDS [順番検査フィールド1] **D** [順番検査フィールド2] **D**…または**ALLFIELDS**
ERRORLIMIT N **IF** 条件式 **TO** 出力先

※「並べ替え対象フィールド」で降順を選択した場合は、「D」が記述されます。

※「IF条件」を設定した場合は、IF条件式が記述されます。

※出力先は、「出力先」の選択により、記述が変わります。

出力先	ログ
「画面」を選択した場合	SCREEN
「テーブル」を選択した場合	“(サブフォルダ名)¥新規テーブル名”